

平成 30 年度 事業報告書

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日

学校法人 成徳学園

せいとく介護こども福祉専門学校

1. 学校法人の概要

(1) 法人の名称および所在地

法人の名称	学校法人 成徳学園
事務所の所在地	札幌市中央区南 11 条西 8 丁目 2-47

(2) 理事(6名)・監事(2名)

区分	選任条項	氏名	常勤・非常勤	最新就任年月日
理事長	第6条1項	高田 研 司	常 勤	平成 29 年 6 月 8 日
理 事	第6条2項	千 葉 英 守	非常勤	平成 29 年 6 月 8 日
理 事	第6条2項	細 川 正 人	非常勤	平成 29 年 6 月 8 日
理 事	第6条3項	秋 田 喜 久	非常勤	平成 29 年 6 月 8 日
理 事	第6条3項	浅 香 博 文	非常勤	平成 29 年 6 月 8 日
常務理事	第6条3項	野 村 昌 昭	常 勤	平成 29 年 6 月 8 日
監 事	第7条1項	浦 島 太 郎	非常勤	平成 29 年 6 月 8 日
監 事	第7条1項	中 村 仁	非常勤	平成 29 年 6 月 8 日

(3) 評議員 (13名)

選任条項	氏名	常勤・非常勤	最新就任年月日
第23条1項	高田 研 司	常 勤	平成 29 年 6 月 8 日
第23条3項	千 葉 英 守	非常勤	平成 29 年 6 月 8 日
第23条3項	細 川 正 人	非常勤	平成 29 年 6 月 8 日
第23条3項	浅 香 博 文	非常勤	平成 29 年 6 月 8 日
第23条3項	加 藤 孝	非常勤	平成 29 年 6 月 8 日
第23条3項	工 藤 秀 勝	非常勤	平成 29 年 6 月 8 日
第23条3項	久朗津 行 夫	非常勤	平成 29 年 6 月 8 日
第23条3項	玉 木 克 典	非常勤	平成 29 年 6 月 8 日
第23条3項	荒 信 幸	非常勤	平成 29 年 6 月 8 日
第23条2項	佐 藤 秀 幸	非常勤	平成 29 年 6 月 8 日
第23条1項	野 村 昌 昭	常 勤	平成 29 年 6 月 8 日
第23条2項	中 村 和 恵	常 勤	平成 29 年 6 月 8 日
第23条1項	町 田 幸 作	常 勤	平成 29 年 6 月 8 日

(4)教職員数(平成30年4月1日現在)

専任教員	専任職員	講師
14名	2名	47名

(5)入学定員及び学生数

学 科	入学定員	収容定員 (2学年)	学 生 数	
			1年	11名
介護福祉科	80名	160名	2年	15名
			1年(保・幼)	19名
※ こども福祉科	80名	160名	1年(保)	12名
			2年(保・幼)	14名
			2年(保)	18名
合 計	160名	320名		89名

※保・幼…保育士・幼稚園教諭コース／保…保育士コース

2. 事業の概要

(1)事業計画に基づく動き

1. 学校経営改善3ヶ年計画

①学生募集の基盤構築

根本から学生募集活動を見直し、広報担当以外に新たな広報活動を企画する広報グループを組織する。そして、対面接触の強化、接触後のフォローアップを厚くした。また、職員全員が広報に関わることの大切さを再認識する場を設け、高校生参加の体験入学での対応力強化に繋がった。

②人材基盤構築

平成30年9月に、平成31年4月からの新組織体制を発表。特色を十分に生かした教育活動を行うべく、従来の学年ごとの組織から各学科ごとの組織に改編し、学科の専門性を追求を目指した。また、早期より事前準備を進めながら現在に至る。

③せいとくブランド構築

今まで培ってきた教育の成果に加え、新たに目指す学生像とその実現のための職業実践を示すことによって、本校教育の価値を内外に認識されることを目指した取り組みを令和2年から予定をしている。

2. 福祉の基本と時代のニーズに合わせたカリキュラム内容の検討と精査

①カリキュラム変更

「指定保育士養成施設指定基準」の改正に伴い、保育現場の新たなニーズに応えられる人材育成を目指して、保育士養成カリキュラムの変更を行い、申請後承認された。

②職業実践専門課程における各種委員会の開催

教育課程編成委員会

平成 30 年 6 月 27 日 10:00～12:00

平成 31 年 1 月 29 日 10:00～12:00

学校関係者評価委員会

平成 30 年 7 月 10 日 10:00～12:00

③介護福祉士(国家試験)受験対策の強化 (いずれも対象は 2 年生)

- ・授業「国家試験対策」30 時間実施
- ・「国家試験受験対策模擬試験」を年 3 回実施
- ・「国家試験対策講座」平成 31 年 1 月 7 日～1 月 17 日(7 日間)

3. 社会人育成と退学者 0 を目指した新たな学生指導

- ・スクールカウンセラー(臨床心理士)による定期的なカウンセリング体制をとった。
- ・毎朝の打合せ及び毎週火曜日と木曜日の情報共有の時間を活用して、学生指導の共有化を図った。

4. 経営の安定化

経費支出の必要性和効果を吟味し、人件費を含めた経費の削減を行った。一方で、入学人数確保のための計画的かつきめ細かな広報・学生募集活動を行い、経営の安定化に向けて取り組んだ。

5. 100 周年記念事業の推進

- ・同窓会の開催 平成 30 年 8 月 27 日(同窓生参加 11 名)
参加者が少なく、事前の告知方法に課題を残した。
- ・留学生受入事業
東京都内の2校の日本語学校で学校説明会開催。(平成 30 年 5 月 21 日)
中国大連市内の職業訓練校 1 校・日本語学校 3 校・留学斡旋会社 1 社を訪問
(平成 30 年 7 月 25 日～26 日)

6. 地域住民との共生

- ・せいとく夏祭り・・・平成 30 年 7 月 22 日
学生全員参加 427 名来校
- ・「あけぼのサマーフェスティバル平成 30 in 曙」学生ボランティア参加
(平成 30 年 8 月 5 日)
- ・「曙地区親子雪の集い」学生ボランティア参加 (平成 31 年 2 月 14 日)
- ・オペレッタ (平成 31 年 2 月 22 日)
近隣保育園2園の園児約 80 名と町内会より約 10 名来校

7. 介護福祉士および保育士養成科訓練生(高等技術専門学院)の委託受入事業

平成 31 年 4 月より、こども福祉科(保育士コース)に 7 名と介護福祉士科に 4 名の訓練生を受け入れた。

8. 教育力向上のための校外研修・校内研修の実施

- ・介養協北海道ブロック研修会(平成 30 年 9 月 14 日) 教員 2 名参加
- ・伝達講習会(介養協北海道ブロック研修会報告)を平成 31 年 1 月 18 日に実施。
- ・「発達障害の方等の一般就労に向けた出張型就労支援セミナー」
講師: 北海道労働局職業安定部職業対策課 雇用対策係(障害担当)
就職支援コーディネーター 大加瀬 敦 氏 (平成 30 年 12 月 26 日)
- ・「高大接続改革で何が変わるのか～専門学校が生き残るために」
講師:(株)リクルートマーケティングパートナーズ・リクルート進学総研主任研究員
企画開発グループマーケティングプランナー 三浦 勝寛氏 (平成31年1月17日)

9. 校舎老朽化に伴う修繕工事の実施

- ・ボイラー関係部品交換
- ・校舎内一部照明器具をLED化
- ・トイレ補修

(3)教育の概要

授業日数・授業時間数

学科・学年	介護福祉科		こども福祉科			
	1年	2年	保育士・幼稚園教諭 コース		保育士コース	
			1年	2年	1年	2年
授業日数	198日	189日	196日	187日	198日	187日
授業回数 (行事除く)	559回	568回	584回	562回	567回	512回

※授業1回・・・90分

(4)就職関係

①求人状況

平成30年 求人合計 821件(内訳:北海道内 564件/北海道外 257件)

	種別	道内求人		道外求人	
		施設数	求人数(人)	施設数	求人数(人)
1	特別養護老人ホーム	72	216	17	106
2	介護老人保健施設	21	54	5	21
3	病院・医療法人	18	77	11	101
4	社会福祉法人	56	305	20	143
5	高齢者その他	54	159	15	98
6	保育所	98	284	127	602
7	幼稚園	39	116	5	17
8	認定こども園	56	194	2	6
9	児童養護施設	9	26	1	6
10	障がい児施設	25	58	8	56
11	託児所	37	154	26	224
12	障がい者支援施設 (身体障害者)	7	23	-	-
13	障がい者支援施設 (知的障害者)	22	68	2	7
14	公務員・その他	38	100	4	33
15	一般企業	12	82	14	97
	合計	564	1,916	257	1,517

②就職実績

学 科	クラス	在籍数	就職を依頼 しない者	就 職 希望者	就職 決定者	就職率
介護福祉科	2KA	15名	0名	15名	15名	100%
こども福祉科	2SA	14名	0名	14名	14名	100%
	2SB	17名	2名	15名	15名	100%
合 計		46名	2名	44名	44名	100%

(5) 学生募集関係 ※()内は平成 30 年度実績

- ① 進学相談会(40回)・校内ガイダンス(33回)
北海道内の市町村にて、会場あるいは高校内体育館でブースを設けて、高校生に学校の説明をする。
- ② 進学雑誌・ホームページ
進学雑誌は、業者が発行して高校生に配布する媒体(インターネット連動)に参画。ホームページは、学校の紹介と資料請求ができるものとして本校独自に作成。
- ③ 一日体験入学・ミニ体験入学(25回)
高校生が介護・保育の体験を通して、職業理解・学校理解を深め、本校入学に結び付ける企画。
- ④ 職業説明会・なるには説明会(35校)
依頼を受けた道内の高校に訪問して、高校 1~3 年生(一部中学生参加)を対象に、「介護分野」「保育分野」等の職業についてあるいは職業に就くまでのルートを解説する。
- ⑤ 学校見学(中学生・高校生)(38校 335人)
依頼を受けた道内の中学校・高校より生徒が来校。キャリア教育の一環として模擬授業等を通して、進路選択についてより具体的なイメージを持つためのもの。
- ⑥ 高校訪問(35校)
札幌市内及び道内の高等学校を訪問して、進路指導部教員に、その高校から来た入学生や卒業生の動向を伝え、介護・保育希望者の把握や本校のPRを行う。
- ⑦ 高校教員研修会(6校)
高等学校教員を対象に、奨学金・介護・保育分野等の説明を実施した。